

# 博 × 肉 高校生と 運営補助やステージ

## 若者が盛り上げる



やぎにく村で来場者に対応する高校生（秋田犬の里）

1日に大館市観光交流施設「て」。市内の高校生ボランティア・秋田犬の里で開幕した第9「アヤ秋田職業能力開発短大の」回「肉の博覧会 in おおだ」学生がステージを企画するな

え、盛り上げている。「若者に地域のイベントに

支生が紙皿の配布やカセットコックを交換するなど忙しく動いた。齊藤天真さん（大



秋田職能短大の学生が企画したステージイベント「肉の格付けチェック」

関わってもらい、一緒に盛り上げた。「田山洋平実行委員長」との思いで、高校にボランティアを募集。市内3校や秋田市の高校に通う市出身者ら2日間で44人が協力する。「やぎにく村」では、高校

館鳳鳴高校2年生は「地域のために何かできればと考えた。にきわつていてボランティアをするのが楽しいし、「頑張つて」と声をかけられ、参加してよかったと話した。やぎにく村には鳳鳴高美術部が制作した看板を設置。こんがり焼けた肉を描いた巨大看板や、あきたこまちの釜炊きご飯をPRするしゃもじ型の看板が目を引いた。

秋田職能短大の学生は、ステージイベントやクイズに答えながら会場内を回るスタンプラリーなど三つの企画を担当した。

ステージで行ったのは、焼いた肉の種類などを当てる「肉の格付けチェック」。会場で募った参加者8人にアイマスクをしながら食べ比べてもらい、「はげけないで（喉に詰まらせないで）ください」と声をかけるなど、方言を交えた進行で笑いを誘った。住居環境科2年の吉田結月（ゆな）さんと虻川詞保さんは「大館を元気づけよう」と、ノリノリで楽しめる内容を考えた」と話した。

会場近くの映画館・オナリ座では子ども向け映画を無料上映。上映後は学生がゲーム大会を行い、家族連れを楽しませた。2日も正午から上映し、午後1時過ぎから3時まで学生の企画が行われる。